

公益社団法人 日本船舶海洋工学会 平成22年度（第115期）事業報告

（平成22年11月1日から平成23年3月31日まで）

平成23年4月27日 理事会承認

調査研究事業

【1】学術講演会

平成22年度各支部秋季講演会の講演会論文集(CD-ROM)を刊行した。また講演会講演申込および講演論文投稿サイトについて、英文表記も併記するよう改修した。

【2】論文集発行

1. 論文審査委員会

委員数：木下健委員長ほか23名

実施事項：

- ・日本船舶海洋工学会論文集第13号の論文審査
- ・平成23年度日本船舶海洋工学会賞(論文賞)および奨励賞の選考

2. 日本船舶海洋工学会論文集刊行

平成22年12月に表1-1のとおり日本船舶海洋工学会論文集第12号を発行した。

表1-1 日本船舶海洋工学会論文集刊行

	論文数	頁数	発行部数
論文集第12号 (平成22年12月)	27	236	1,000
計	27	236	1,000

【3】英文論文集(Journal of Marine Science and Technology)の発行

1. JMST 編集委員会

委員数：藤久保昌彦委員長ほか34名

委員相互の書面交信等により下記の事項を実施した。

実施事項：

- ・JMST Vol.15 No.4～Vol.16 No.1の論文審査と論文掲載

2. JMST 刊行

JMST Vol.15 No.4～Vol.16 No.1の2冊を表1-2のとおり発行した。

表1-2 英文論文集(JMST)刊行

	論文数	頁数	発行部数
Vol.15 No.4 (平成22年12月)	11	139	550
Vol.16 No.1 (平成23年3月)	8	114	550
計	19	253	1,100

【4】研究委員会活動

1. 研究企画委員会

研究企画委員会を以下のとおり開催し、下記を実施した。

回	期日	場所	出席者数	報告件数
第3回	2010.11.30	東京大学	10名	7件

- ・プロジェクト研究委員会、ストラテジー研究委員会による限定的・組織的研究を支援促進した。
- ・総合的な研究活性化策、研究戦略を検討した。
- ・研究会等の会計処理について審議した。

2. 分野研究企画部会

性能運動分野

委員数：安川宏紀委員長ほか10名

委員会の開催状況：

回	期日	場所	出席者数	発表等件数
第15回	2011.2.2	愛媛大学校友会館	8名	4件

実施事項：

- ・推進性能・運動性能合同研究会の企画、実施
- ・推進性能研究会シンポジウムの企画、実施
- ・国際・国内会議等の情報交換

海洋工学・海洋環境分野

委員数：高木健委員長ほか11名

委員会の開催状況：

回	期日	場所	出席者数
第17回	2010.12.2	九州大学筑紫キャンパス	8名

実施事項：

- ・海洋工学・海洋環境合同研究会の企画、実施
- ・第22回海洋工学シンポジウム(2011.3.17-18)の企画、実施(東日本大震災のため開催延期し、論文集 CD-ROM を発行)
- ・見学会実施(2011.3.31 串木野国家石油備蓄基地)

構造・強度、材料・溶接分野

委員数：北村充委員長ほか7名

委員会の開催状況：

回	期日	場所	出席者数	発表件数
第1回	2010.11.22	日本海事協会東京支部	8名	5件

実施事項：

- ・支部研究会との情報交換と協力

設計・艦装分野

委員数：荒井誠委員長ほか10名

委員会の開催状況：

回	期日	場所	出席者数	発表等件数
第1回	2011.1	書面審議	4名	2件
第2回	2011.3	書面審議	10名	1件

実施事項：

- ・造船設計シンポジウムの企画と準備

工作分野

委員数：青山和浩委員長ほか10名

委員会の開催状況：

回	期日	場所	出席者数	発表等件数
第5回	2010.11.5	アルカス佐世保	8名	4件
第6回	2011.1.26	新大阪丸ビル	12名	4件

実施事項：

- ・JSQS 改訂ためのプロジェクト研究委員会設立の準備
- ・平成23年度研究会の組織、活動に関する討議

情報技術分野

委員数：大和裕幸委員長ほか 10 名

委員会の開催状況：

回	期日	場所	出席者数	発表等件数
第 2 回	2010.11.16	東京大学本郷キャンパス	7 名	7 件
第 3 回	2011.1.14	伊万里グランドホテル	11 名	3 件

実施事項：

- ・次期プロジェクト研究委員会に関する審議

3. プロジェクト研究委員会

今期に活動を終了した研究委員会は1件(P-22)である。今期の委員会活動は以下のとおりである。

P-22 海洋再生可能エネルギーの実用・利用に向けた企画立案検討研究委員会

委員数：鈴木英之委員長ほか 16 名

委員会の開催状況：

回	期日	場所	出席者数	発表等件数
第 7 回	2010.11.11	東京大学本郷キャンパス	5 名	3 件

実施事項：

- ・海洋再生エネルギーの最新状況調査
- ・海洋再生可能エネルギー利用装置の実証実験のための共同実験場の可能性検討
- ・最終報告書のとりまとめ

P-23 東アジア物流ネットワーク研究委員会

委員数：末岡英利委員長ほか 9 名

委員会の開催状況：

回	期日	場所	出席者数
第 10 回	2010.12.16	OPRF 会議室	10 名
第 11 回	2011.2.25	東京大学	15 名

実施事項：

- ・東アジア物流の現状・将来動向調査
- ・東アジア物流ネットワーク将来像提言（IT 化）
- ・シンポジウム「東アジア物流の明日を考える」を企画したが東日本大震災により開催を延期

P-24 強非線形流体・構造連成解析研究委員会

委員数：柏木正委員長ほか 11 名

委員会の開催状況：

期日	場所	出席者数	発表等件数
2010.12.21-22	九州大学応用力学研究所	25 名	16 件

実施事項：

- ・研究集会「強非線形流体・構造連成解析」の開催

P-25 海洋の大規模利用に対する包括的環境影響評価普及推進研究委員会

委員数：大塚耕司委員長ほか 14 名

委員会の開催状況

回	期日	場所	出席者数	発表等件数
第26回	2010.11.5	東京大学本郷キャンパス	9 名	2 件
第27回	2010.12.3	九州大学総合理工学府	9 名	3 件
第28回	2011.2.23	東京大学本郷キャンパス	11 名	5 件
第29回	2011.3.31	鹿児島大学都元キャンパス	5 名	3 件

実施事項：

- ・環境 - 経済統合換算係数の理論的裏づけ
- ・包括的環境影響評価Triple Iの普及のため情報発信

P-26 次世代造船システムの構想設計に関する研究委員会

委員数：梶原宏之委員長ほか 42 名

委員会の開催状況：

回	期日	場所	出席者数	発表等件数
第4回	2011.1.18	名村造船所伊万里事業所	25 名	3 件

実施事項：

- ・造船CIMS関連ベンダーによる講演会開催

P-27 弾性振動を含む動的荷重を考慮した船体強度評価に関する研究委員会

委員数：深沢塔一委員長ほか 13 名

委員会の開催状況：

回	期日	場所	出席者数	発表等件数
第2回	2010.11.8	日本船舶海洋工学会	7 名	4 件
第3回	2011.1.25	日本船舶海洋工学会	8 名	5 件
第4回	2011.3.23	コンフォートホテル堺	12 名	4 件

実施事項：

- ・直接計算による設計荷重評価の検討
- ・弾性振動を含む最大荷重推定法に関する比較計算実施
- ・講演会オーガナイズド・セッション「動的荷重を考慮した船体強度評価とその技術的背景」の開催（2010.11.12）。

P-28 ISO18072 シリーズ最終強度算式検証のための研究委員会

委員数：矢尾哲也委員長ほか 14 名

委員会の開催状況

回	期日	場所	出席者数	発表等件数
第7回	2010.11.1	大阪大学	15 名	7 件
第8回	2010.12.3	大阪大学	13 名	12 件
第9回	2011.2.10	大阪大学	14 名	9 件

実施事項：

- ・パネルの最終強度に関するベンチマーク計算
- ・防曇パネルの最終強度に関するベンチマーク計算
- ・船体桁の最終強度に関するベンチマーク計算

P-29 船舶操縦運動予測モデルの標準化に関する研究委員会

委員数：安川宏紀委員長ほか 20 名

委員会の開催状況

回	期日	場所	出席者数	発表等件数
第2回	2010.11.17-18	九州大学伊都・箱崎	16 名	14 件
第3回	2011.3.17-18	中央電気倶楽部	18 名	16 件

実施事項：

- ・船舶操縦運動数学モデルの標準化の検討
- ・流体力係数決定の手順書検討
- ・流体力係数のデータベース化

P-30 「次世代船舶を目指した艤装工作法の改善」研究委員会

委員数：篠田岳思委員長ほか 19 名

委員会の開催状況

回	期日	場所	出席者数	発表等件数
第2回	2010.11.11-12	名村造船所	21 名	4 件
第3回	2011.2.17-18	三菱重工下関造船所	24 名	4 件

実施事項：

- ・改善事例の整理・分析
- ・技能伝承交流会の企画
- ・CS を目指した物造り改善やPSPC 適用の検討

P-31 CFD による船舶の省エネ性能評価研究委員会

委員数：日野孝則委員長ほか 9 名

委員会の開催状況

回	期日	場所	参加者数	発表等件数
---	----	----	------	-------

第1回 2011.3 メール審議 10名 2件
実施事項：

- ・委員会の体制、役割、スケジュールの検討

P-32 「大型船の係船装置の設計指針」研究委員会

委員数：荒井誠委員長ほか29名

委員会の開催状況

回	期日	場所	出席者数	発表等件数
第1回	2010.12.21	ウィリング横浜	7名	3件
第2回	2011.1.11	ウィリング横浜	6名	2件
第3回	2011.1.27	ウィリング横浜	4名	2件
第4回	2011.3.3	ユニバーサル造船	8名	3件
第5回	2011.3.10	MSCセンタービル	25名	4件

実施事項：

- ・係船装置の計画条件、要目計画のとりまとめ
- ・曳航設備およびSPM設備のとりまとめ
- ・造船所および係船機メーカーのアンケート調査
- ・係船装置配置例の調査

P-33 「船上艤装置の多様な駆動方式の選定指針」研究委員会

委員数：荒井誠委員長ほか29名

委員会の開催状況

回	期日	場所	出席者数	発表等件数
第1回	2010.11.29	三菱重工長崎造船所	6名	6件
第2回	2011.1.24	川崎重工神戸工場	6名	5件
第3回	2011.2.25	セントラルホテル佐世保	6名	4件
第4回	2011.3.10	MSCセンタービル	25名	3件
第5回	2011.3.25	セントラルホテル伊万里	5名	3件

実施事項：

- ・駆動方式の現状、歴史および変遷、特徴のとりまとめ
- ・各機器の具体例のとりまとめ
- ・船主および各機器メーカーのアンケート調査
- ・機器の評価手法の検討

4. ストラテジー研究委員会

三つのストラテジー（戦略的課題）研究委員会、また、国際
学術連携を目的とした JTTC および JSSC 委員会を実施した。

S-7 摩擦抵抗低減研究委員会

委員数：戸田保幸委員長ほか11名

委員会の開催状況

回	期日	場所	出席者数	発表等件数
第7回	2011.1.21	学会事務局	7名	3件

実施事項：

- ・摩擦抵抗低減技術に関する文献調査
- ・摩擦抵抗低減効果に関する理論的検討
- ・摩擦抵抗計測法に関する調査

S-8 海洋環境戦略的管理研究委員会

委員数：村井基彦委員長ほか14名

委員会の開催状況：

回	期日	場所	出席者数	発表等件数
第5回	2010.12.3	九州大学	7名	3件
第6回	2011.2.23	東京大学	11名	2件

実施事項：

- ・EEZ内の熱水鉱床の可能性について調査検討
- ・熱水鉱床活用を例題としたEEZ利用に関する法的整備状況の調査

S-9 海洋立国基本戦略委員会

委員数：高木健委員長ほか8名

委員会の開催状況：

回	期日	場所	出席者数	発表等件数
第3回	2010.11.8	九州大学	6名	9件
第4回	2011.3.4	東京大学柏キャンパス	7名	3件

実施事項：

- ・海洋開発のニーズとシーズのギャップ調査
- ・メタンハイドレート等専門家のヒアリング調査

JTTC

委員数：戸田保幸委員長ほか31名

委員会の開催状況：

回	期日	場所	出席者数	発表等件数
第16回	2011.2.3	愛媛大学	11名	7件

実施事項：

- ・ITTC各委員会による技術動向に関する報告と議論
- ・EEDI (Energy Efficiency Design Index) 策定への対応
- ・次期ITTC委員会委員の選出についての検討

JSSC

委員数：角洋一委員長ほか20名

実施事項：

- ・ISSC2012技術委員会に関する情報交換

5. 研究会

会員相互の情報交換および技術交流を支援促進するため各種研究会を設置し、研究発表およびシンポジウム等の活動を実施した。現在設置の研究会は次のとおりである；推進性能研究会、運動性能研究会、材料・溶接研究会、建造革新研究会、造船設計・生産技術研究会、海洋工学研究会、海洋環境研究会、情報技術研究会。

推進性能・運動性能合同研究会

会員：鈴木和夫会長、安川宏紀会長ほか

回	期日	場所	出席者数	発表件数
第15回	2011.2.2~3	愛媛大学校友会館	35名	14件

推進性能研究会

会員：鈴木和夫会長ほか

期日	場所	出席者数	講演件数
2010.12.16-17	神戸大学深江キャンパス	97名	10件

実施事項：

- ・推進性能研究会シンポジウム「水槽試験の現状と展望」開催

材料・溶接研究会

会員：粟飯原周二会長ほか29名

回	期日	場所	出席者数	発表件数
第15回	2010.12.21	東京大学山上会館	26名	3件
第16回	2011.3.22	東日本大震災のため中止		

建造革新研究会

会員：青山和浩会長ほか39名

実施事項：

- ・「JSQSの改訂作業」「塗装品質の為の船殻工事のあり方」「効率のよい精度管理の研究」を、担当WG1~3にて実施。

造船設計・生産技術研究会

会員：荒井誠会長ほか

造船設計部会：
 第113回 2011.3.10-11 MSC センタービル 25名 6件
 機装工作部会：
 第2回 2010.11.11-12 名村造船所 21名 3件
 第3回 2011.2.17-18 三菱重工下関造船所 24名 3件
 電気機装部会：
 第10回 2010.11.10-11 神戸市グリーンホール 26名 5件

海洋工学研究会

会員：高木健会長ほか97名
 回 期日 場所 出席者数
 第15回 2010.12.2 九州大学筑紫キャンパス 13名
 構造部会：
 第22回 2010.12.17 東京大学本郷キャンパス 9名

海洋環境研究会

会員：佐藤徹会長ほか71名
 回 期日 場所 出席者数 発表件数
 第17回 2010.12.2 九州大学筑紫キャンパス 21名 6件

情報技術研究会

会員：大和裕幸会長ほか39名
 回 期日 場所 出席者数 発表件数
 第17回 2011.1.17-18 名村造船所 25名 5件

【5】学術協力

1. Pan Asian Association of Maritime Engineering Societies (PAAMES)

2010年12月6日～8日にシンガポールにおいて開催された第4回 PAAMES/AMEC2010 に、角洋一会長、深沢塔一実行委員、吉田公一委員を派遣し、学会連合活動を行った。

2. 国際対応

国際的な活動に対応するため下記の委員会等を開催した。

ISSC 対応：JSSC 委員会 船体構造と安全性に関わる調査研究

ITTC 対応：JTTC 委員会 船舶性能に関わる調査研究

IMDC 対応：IMDC 準備委員会 船舶設計に関する国際会議の準備

3. 将来ビジョン検討委員会

学会が今後目指すべき方向性を検討するため、今回は下記委員会を開催したほかメール審議で議論した。検討結果を報告に取りまとめた。

回 期日 場所 出席者数
 第4回 2010.11.11 日本郵船本社 12名

【6】シンポジウムの開催

1. 推進性能研究会シンポジウム「水槽試験の現状と展望」

期日：平成22年12月16日～17日

場所：神戸大学深江キャンパス

実施：推進性能研究会

参加総数：97名

講演件数：招待講演2件、一般講演8件

2. 第22回海洋工学シンポジウム

期日：平成23年3月17日～18日

場所：日本大学駿河台キャンパス

共催：日本海洋工学会

(本シンポジウムは東日本大震災のため開催延期とし、論文集 CD-ROM のみ発行した)

【7】共催および後援

表1-3、表1-4のとおり関連学協会の講演会・シンポジウム等に共催および後援を行った。また、27件の協賛を行った。

表1-3 共催

期日	名称	共催	開催場所
2011.3.8	理論応用力学講演会(第60回)	日本学術会議	東京工業大学
2011.7.7～8	安全工学シンポジウム2011	日本学術会議	日本学術会議
2011.3.17～18	第22回海洋工学シンポジウム	日本海洋工学会	日本大学

表1-4 後援

期日	名称	主催	開催場所
2011.2.18	第46回原子力国内シンポジウム「原子力発電設備におけるシミュレーションの最前線」	日本溶接協会	化学会館

【8】支部活動

1. 東部支部

(1) 東部支部秋季講演会の開催

期日：平成22年11月12日(金)

場所：タワーホール船堀 (東京都江戸川区)

参加総数：165名、懇親会48名

特別講演1件、一般講演49件、オーガナイズド・セッション23件、若手優秀発表の表彰2名

(2) ワークショップ「これからの海中音響技術」の開催

日時：平成23年1月11日(火)

場所：東京海洋大学 海洋工学部 越中島会館

参加総数：36名、懇親会29名

(3) 東部支部構造研究会

回 期日 場所 出席者数 講演数
 第23回 2011.1.26 日本海事協会本部 23名 4件

2. 関西支部

(1) 関西支部秋季講演会の開催

期日：平成22年11月15～16日

場所：神戸市産業振興センター

参加者：231名、懇親会48名

内容：招待講演1件、基調講演2件、一般講演31件 OS1 テーマ9件、ポスターセッション10件、優秀ポスター賞等の表彰3名

(2) 特別講演会の開催

期日：平成23年1月14日

場所：神戸クリスタルホール 参加者：66名

内容：「砕氷艦「しらせ」新たな技術と南極処女航海の奮闘」山内豊氏(ユニバーサル造船)

(3) シンポジウム等の開催

『船型開発のあけぼの』バルバスパウを中心にして

期日：平成22年11月5日

場所：神戸大学カンファレンスホール

- 参加者：64名
「設計・生産が協調したものづくり」
期日：平成23年2月7日
場所：大阪大学中之島センター 参加者：86名
- (4) KFR（関西船舶海洋流体力学研究会）
「海事産業説明会」
期日：平成22年12月11日
場所：大阪産業創造館 参加者166名
- | 回 | 期日 | 場所 |
|-------|-----------|------------|
| 第312回 | 2011.1.28 | 阪大理工学図書館 |
| 第313回 | 2011.3.16 | 川崎重工業海友館新館 |
- (5) KSSG（関西船体構造研究会）
- | 回 | 期日 | 場所 | 参加者 |
|-----|------------|------------|-----|
| 第3回 | 2010.11.19 | 三菱重工業神戸造船所 | 20名 |
| 第4回 | 2011.3.18 | 大阪大学 | 18名 |
- KSSG-Jr 学生発表会
2010.11.30 大阪大学接合科学研究所
KSSG-Jr 工場見学会
2010.12.10 川崎重工神戸造船所 37名
- (6) 海事教育支援活動
幹事会：平成23年1月27日
幹事会：平成23年3月17日

3. 西部支部

- (1) 西部支部秋季講演会の開催

- 期日：平成22年11月4日～5日
場所：アルカスSASEBO（佐世保市）
参加人数：104名、懇親会80名
一般講演（41件）、ポスターセッション（7件）、
ポスターセッションの表彰（3名）・優秀講演賞の表彰（2名）
- (2) シンポジウム等の開催
「海洋再生可能エネルギーの利用に関するワークショップ」
期日：平成22年12月1日
場所：九州大学西新プラザ
参加人数：64名、懇親会37名
- (3) 西部支部構造研究会
- | 回 | 期日 | 場所 |
|------|-----------|---------------|
| 第18回 | 2011.1.18 | ホテルアジュール（今治市） |
- 「船体に作用する外力評価と応答に関する講習会」開催
期日：平成23年3月7日
場所：広島大学東広島キャンパス
参加人数：50名、懇親会23名
- (4) 西部支部性能研究会
講演会“The trends of advanced technology for Autonomous Underwater Vehicles in the world”の開催
期日：平成23年2月4日
場所：九州大学海洋システム工学部門、参加人数20名
講師：Flinders大学(AU) Tae-Hwan Joung教授

啓発・広報事業

【1】能力開発センター

1. 能力開発センター運営委員会
委員数：橋本博之委員長ほか6名
能力開発センターを構成する技術者資格支援委員会、CPD委員会、大学等教育支援委員会、教科書編纂委員会の活動を推進した。

2. 技術者資格支援委員会

- 委員数：大和裕幸委員長ほか2名
技術士補（技術士第1次試験）の資格取得に向けた平成23年度講習会の準備と募集を行った。

3. CPD委員会

- 委員数：正岡孝治委員長ほか2名
継続的能力開発（CPD）ポイント蓄積システムの運用を行った。また改善を検討すると共に、他学会との協調を考慮しながらCPDポイント制度の普及に努めた。

4. 大学等教育支援委員会

- 委員数：鈴木英之委員長ほか6名
日本技術者教育認定機構（JABEE）に協力し船舶海洋系大学の教育プログラムのJABEE認定に向けた支援を行った。

5. 教科書編纂事業

- 委員数：池田良穂委員長ほか61名
日本財団の助成のもとに実施している若手の造船技術者を対象とした造船技術の基準となる10冊の教科書編纂事業のうち、

今年度は船体艦装設計、船体構造（強度編）、造船工作法の3冊の編纂を行った。また出版社を選定し昨年度作成原稿の出版に向けた準備を行った。

【2】若手研究者海外派遣

国際的視野を有する優れた若手研究者・技術者の育成を目的として「国際学術協力に係わる海外派遣事業」により、平成21-22年度に派遣した9名の派遣報告会を、平成22年11月15日、神戸市産業振興センターにて開催した。なお、本事業は日本財団より助成を受けた。

【3】海洋教育推進活動

1. 海洋教育推進委員会

期日	委員会名	出席者数
2010.11.17	第1回東部支部推進委員会	14
2010.12.10	第2回東部支部推進委員会	10
2010.12.22	第2回運営委員会	7
2011.1.27	第3回運営委員会	7
2011.1.28	第3回東部支部推進委員会	8

実施事項：

- ・海洋教育推進委員会の運営方針の審議
- ・海洋教育フォーラム、海洋教育セミナーの計画・実施に関する討議

2. 海洋教育フォーラムと海洋教育セミナー開催

- (1) 第3回海洋教育フォーラム

海洋教育フォーラム「プロフェッショナルが語る海・船・魚の魅力」を下記のとおり開催予定だったが、直前の東日本大震災のため中止した。

期日：平成 23 年 3 月 19 日
 場所：東京海洋大学越中島会館
 事前登録者：150 名（3/11 現在）
 講演数：7 件

(2) 第 5 回東部支部海洋教育セミナー

期日：平成 23 年 2 月 28 日
 場所：海洋研究開発機構(JAMSTEC)横浜研究所
 参加者数：25 名
 講演数：4 件

3. 青少年啓蒙活動

「水中ロボットコンベンション in JAMSTEC」を以下のとおり予定していたが、直前の東日本大震災のため中止した。

期日：平成 23 年 3 月 12～13 日
 場所：海洋研究開発機構（JAMSTEC）横須賀本部
 参加チーム数：8
 プログラム：水中ロボットによる競技会
 水中ロボットに関する発表会

4. 一般向け講演会の開催

表 2-2 のとおり造船系 4 大学にて高校生を含む一般向けの講演会等を開催した。本事業は日本造船工業会より補助金を受けた。

表2-2

大学	開催日 / 場所	参加者数
大阪府立大学	平成 22 年 11 月 4 日	30
	府立鳳高等学校	30
	平成22年1月24日 奈良県立奈良高等学校	30
東京大学	平成22年11月7日 東京夢の島マリーナ	50
	平成22年11月24日 愛媛県立今治西高校	80
大阪大学	平成22年12月22日 兵庫県立龍野高校、兵庫高校	80
	平成22年12月9日 高松第一高等学校	160

【4】会誌発行

1. 学会誌編集委員会

委員数：馬場信弘委員長ほか 56 名

・全体計画および調整のため幹事会を開催した。

回	期日	場所	出席者数
第24回	平成22.12.14	学会会議室	9
第25回	平成23.3.29	学会会議室	9

・特集等の企画・編集のため、各支部単位の編集委員会を随時開催した。

・会誌「KANRIN」第 33 号、第 34 号、第 35 号を編集、発行した。

2. 刊行

日本船舶海洋学会誌「KANRIN」第 33 号から第 35 号までの 3 冊を表 2-3 のとおり発行した

表2-3 日本船舶海洋学会誌「KANRIN」発行

会誌・号・発行月	頁数	発行部数
KANRIN 第33号（平成22年11月）	84	5,400
KANRIN 第34号（平成23年1月）	60	5,400
KANRIN 第35号（平成23年3月）	78	5,400
計	222	16,200

【5】電子情報サービス

情報管理委員会

委員数：脇山典広委員長ほか 3 名

学会ホームページ、メールニュースおよび各種委員会活動サイトの企画、管理を実施した。

回	期日	場所	出席者数
第4回	平成22.11.29	学会会議室	7
第5回	平成23.2.4	学会会議室	8

実施事項：

- ・日本船舶海洋工学会ホームページの企画、管理
- ・Webサイトのコンテンツの充実
- ・メールニュースの運用
- ・委員会活動サイトおよびメーリングリストの管理

【6】褒賞

日本船舶海洋工学会細則第 36 条にもとづき、奨学褒賞を授与した。

1. 船舶海洋系大学および大学院(修士課程)の卒業者の中から成績優秀な者に表 2-4 のとおり、奨学褒賞を授与した。
2. 工業高等学校の卒業者の中から成績優秀な者に表 2-5 のとおり、奨学褒賞を授与した。今期より授賞先に高知県立須崎工業高等学校および長崎県立長崎工業高等学校を加えた。

表 2-5 奨学褒賞（高等学校）

学校名	受賞者
山口県立下関中央工業高等学校	永竿 大地
高知県立須崎工業高等学校	佐々木 泰賀
長崎県立長崎工業高等学校	森 将平

【7】広報活動

学会紹介パンフレットの作成・印刷、および入会案内広告紙面の作成を行ない、これらを用いて広報活動を行った。

【8】支部活動

1. 東部支部

(1) 若手ネットワーク形成

若手技術者・研究者の活性化を目的とした交流活動準備のため、6 機関 7 名からなる若手幹事会を組織した。

(2) 海事産業へのお誘い

期日：平成 22 年 11 月 12 日（金）

場所：タワーホール船堀（東京都江戸川区）

入場者：72 名

海事産業関連の企業と学生との交流を目的とした企業の説明、パネル展示を行った。

表 2-4 奨学褒賞(大学)

学校名、学科名	受賞者
東京大学工学部 システム創成学科 システム創成学専攻 人間環境学専攻	鈴木 圭祐 北村 健一 満行 泰河
大阪大学工学部 地球総合工学科 地球総合工学専攻	金 善凡 板村 直樹
横浜国立大学 工学部建設学科 大学院 工学研究院	野中 啓司 松倉 力
東京海洋大学海洋工学部 海事システム工学科 海洋電子機械工学科 流通情報工学科 海運ロジスティクス専攻	松井 亮 船橋 一真 高科 圭 上浦 鉄平
神戸大学海事科学部 海事技術マネジメント学課程 海上輸送システム学課程 マリンエンジニアリング課程 海事マネジメント科学講座	末吉 伸生 牒 元筠 大西 健矢 川勝 麻由
大阪府立大学 工学部海洋システム工学科 航空宇宙海洋系専攻	塚原 洋平 三谷 俊輔
広島大学工学部第四類 輸送機器環境工学プログラム 社会環境システム専攻	桐本 貴行 西村 健
九州大学 工学部地球環境工学科 海洋システム工学専攻 大気海洋環境システム学専攻	郭 鵬飛 柴田 大貴 杵嶋 暁
長崎総合科学大学 工学部 船舶工学科 生産技術学専攻	山口 公毅 濱田 達也
東海大学 海洋学部船舶海洋工学科	池田 貴明
海上保安大学校 本科第一群 本科第二群	中原 崇史 藤田 宗愛
海技大学校 海上技術コース(航海) 海上技術コース(機関)	小川 武彦 佐々木 進之介

(3)若手優秀講演の表彰

期日：平成 22 年 11 月 12 日(金)

場所：タワーホール船堀(東京都江戸川区)

東部支部講演会において若手の優秀な講演 2 件を表彰した。

(4)メールニュースの発行

メールニュース No.33、34「東部支部ワークショップ

『これからの海中音響技術』」を発行した。

2. 関西支部

(1) 造船資料保存委員会

委員数：内藤委員長ほか 22 名

旧造船資料・用具の調査・保存委員会より名称変更した。第 2 回展示会を開催した。

期日：平成 22 年 12 月 21 日

(2) 支部長賞表彰

期日：平成 22 年 11 月 15 日

場所：神戸市産業振興センター

学生会員による優秀な学術ポスターに支部長賞(奨励)(最優秀 1 件、優秀 2 件)を授与した。

(3) 広報活動

学生会員勧誘のための学会紹介パンフレットを製作・配布し、学生会員の拡大を図った。

3. 西部支部

(1) 電子情報委員会

メールによる連絡で関連課題の審議を行った。

(2) 広報活動など

メールマガジン33号、34号を配信した。

事務報告

【1】会合

1. 定時総会

平成22年度(第115期)日本船舶海洋工学会定時総会を出席者74名(内書面による議決権行使52名、定足数44名)のもとに下記のとおり開催し、平成22年度(第114期)事業報告・同収支決算報告に関する件および細則変更に関する件を審議し可決した。

期日：平成 23 年 1 月 21 日 15:00~16:00

場所：学士会館(東京都千代田区)

議事：

- 1) 平成 22 年度(第 114 期)事業報告
- 2) 平成 22 年度(第 114 期)決算報告
- 3) 細則変更の件

2. 公益社団法人日本船舶海洋工学会設立記念行事

当会は平成 22 年 11 月 1 日をもって公益社団法人に移行し、下

記のとおり設立記念行事を開催した。

期日：平成 23 年 1 月 21 日 16:00~19:00

場所：学士会館(東京都千代田区)

記念講演：

講師：土肥 寿員氏(公益法人協会常務理事)

演題：公益法人改革と新しい公益活動

記念パーティ：

参加者数：30 名

3. 理事会

平成 22 年度(第 115 期)第 1 回定例理事会

日時：平成 22 年 11 月 19 日 13:30~17:00

場所：九州大学創造パビリオン、ゼミナール室

出席：理事 10 名、監事 1 名、事務局 2 名

欠席：理事 5 名、監事 2 名

主要議事：

- (1) 代表理事、業務執行理事の選任
- (2) 会員の異動に関する審議
- (3) 細則および内規の改定案に関する審議
- (4) 平成 22 年度事業計画に関する審議
- (5) 平成 22 年度収支予算案に関する審議

平成 22 年度（第 115 期）第 2 回定例理事会

日時：平成 22 年 12 月 17 日 15:00～17:00

場所：日本船舶海洋工学会 会議室

出席：理事 10 名、監事 3 名、事務局 2 名

欠席：理事 5 名

主要議事：

- (1) 会員の異動に関わる審議
- (2) 平成 22 年度（第 114 期）事業報告に関する審議
- (3) 平成 22 年度（第 114 期）決算報告に関する審議
- (4) 平成 22 年度（第 115 期）収支予算修正に関する審議
- (5) 内規の改定に関する審議

平成 22 年度（第 115 期）第 3 回定例理事会

日時：平成 23 年 1 月 21 日 13:30～15:00

場所：学士会館 307 号室

出席：理事 11 名、監事 3 名、事務局 2 名

欠席：理事 4 名

主要議事：

- (1) 学会将来ビジョン検討委員会報告
- (2) 内規改定案に関する審議
- (3) 支部研究会の会計処理に関する審議
- (4) 学会賞等の選考に関わる審議
- (5) 会員資格喪失者に関する審議

平成 22 年度（第 115 期）第 4 回定例理事会

日時：平成 23 年 3 月 18 日 13:00～17:00

場所：中央電気倶楽部 会議室

出席：理事 11 名、監事 1 名、事務局 1 名

欠席：理事 4 名、監事 2 名

主要議事：

- (1) 平成 23 年度事業計画に関する審議
- (2) 平成 23 年度収支予算および資金調達に関する審議
- (3) 基本財産の運用に関する審議
- (4) 学会賞等の選考に関する審議
- (5) 功労会員の推薦に関する審議
- (6) 平成 24 年以降の講演会の運営に関する審議

【2】会員の異動

会員数推移

平成23年3月31日現在、会員総数は個人会員4,626名、賛助会員160団体、計4,786となった。（表3-1）

【3】委員の委嘱

下記のとおり新たに委員を委嘱した。

1. 論文審査委員会

柏木 正、尾崎雅彦、北村 充、日夏宗彦、小林英一、遠山泰美

2. 論文審査委員会査読委員

大川鉄平、久保雅義、M.Renilson

3. 学会誌編集委員会

中村千春、谷本周太、福丸有紀、増田光弘

4. 講演会企画委員会

川島英幹、植田和男、大出 明、

表3-1 会員数推移

種 別	前期末 (平成22年 10月31日)	当期末 (平成23年 3月31日)	減員	増員	増減
正会員	4,283	4,265	37	19	-18
(名誉会員)	(36)	(36)	0	0	0
(功労会員)	(52)	(52)	0	0	0
(内終身会員)	(842)	(889)	9	56	47
(内シニア会員)	(132)	(111)	29	8	-21
学生会員	329	360	9	40	31
賛助会員 特級	19	19	0	0	0
1 級	10	10	0	0	0
2 級	12	12	0	0	0
3 級	120	119	1	0	-1
個人	0	1	0	1	1
合 計	4,773	4,786	47	60	13

5. 能力開発センター教科書作成委員会

池田良穂、末岡英利、修理英幸、戸田保幸、藤本 由紀夫、新開明二、慎 燦益、藤久保昌彦、篠田岳思、大沢直樹、馬場信弘、吉川孝男、芳村康男、大和裕幸、橋本博之、中村容透、西村信一、内藤 林、奥本泰久、前川めぐみ、荻原誠功
執筆WG4（船体艀装）

篠田岳思、福地信義

執筆WG5（船体構造（強度編））

藤久保昌彦、吉川孝男、大沢直樹、後藤浩二、深沢塔一

執筆WG6（造船工作法）

大沢直樹、奥本泰久、青山和浩、後藤浩二、嵐 康二、中山祐蔵、斉藤芳美、尾田逸人、真鍋 圭、津川博光、栗田芳郎、濱田雄二、野口千年、田崎泰博

6. 能力開発センター CPD委員会

安澤幸隆、橋本博公

【4】関連団体との協力

1. 日本学術会議

日本学術会議が主催する講演会等に共催した。

2. 日本工学会

PDE協議会の運用等に関連して日本工学会の事業に協力した。また、事務研究委員会の活動に参画した。

3. 日本造船工業会

造船技術者社会人教育の事業、技術士資格に関わる講習会等で日本造船工業会と連携を図った。

4. 海事三学会

日本マリンエンジニアリング学会および日本航海学会との連携を目的として会長懇談会等を行った。また、シンポジウムの企画、技術者支援事業等で連携を図った。

5. 機械系関連学協会

機械系学協会会長懇談会等に参加し、関連行事に関して連携を図った。

【5】規則

定時総会において細則の改訂を決議した。また、定例理事会において全ての内規の改訂を決議し、平成23年3月に日本船舶海洋工学会規則集を発行した。

【 6 】 行政庁への提出

平成23年3月29日付けで内閣府公益認定等委員会に下記を提出した。

- ・平成23年度（第116期）事業計画
- ・平成23年度（第116期）収支予算書
- ・平成23年度資金調達及び設備投資の見込に関する書類

【 7 】 支部会合

1. 東部支部

東部支部運営委員会

委員数：荒井支部長ほか 15 名

第 1 回運営委員会

日時：平成 22 年 11 月 2 日

場所：日本船舶海洋工学会会議室

主要議事：

- (1) 代議員選挙結果の件
- (2) 平成 22 年度東部支部事業計画案の件
- (3) 「学生向け海事産業へのお誘い」開催の件
- (4) 秋季講演会開催の件
- (5) 第 2 回ワークショップ開催の件
- (6) 会員の異動

第 2 回運営委員会

日時：平成 23 年 1 月 14 日

場所：日本船舶海洋工学会会議室

主要議事：

- (1) 平成 22 年度（第 6 期）事業報告の件
- (2) 平成 22 年度（第 6 期）決算報告の件
- (3) 東部支部会員資格喪失該当者・削除者の件
- (4) 次期支部長候補者選出の件
- (5) 東部支部規則改訂の件
- (6) 若手ネットワーク形成の件
- (7) 会員の異動

東部支部会務委員会

委員数：高木委員長ほか 15 名

支部長を補佐し、支部の運営に関する諸事項を実施した。

第 1 回会務委員会

日時：平成 22 年 11 月 2 日

場所：日本船舶海洋工学会会議室

第 2 回会務委員会

日時：平成 23 年 1 月 14 日

場所：日本船舶海洋工学会会議室

2. 関西支部

臨時総会

期日：平成 23 年 1 月 14 日

場所：神戸クリスタルホール

出席者：69 名(商議員 31 名)

運営委員会

委員数：長谷川支部長ほか 16 名・会務委員 13 名

期日：平成 22 年 12 月 14 日

場所：三菱重工業㈱神戸造船所

主要議事：

- (1) 会員異動の件
- (2) 臨時総会・新年特別講演会開催の件
- (3) 支部長賞授賞審査委員推薦の件
- (4) 平成 23 年度事業計画及び収支予算案の件

期日：平成 23 年 1 月 14 日

場所：神戸クリスタルホール

主要議事：

(1) 会員異動の件

(2) 平成 23 年度事業計画・収支予算案の件

(3) 支部長・監事および支部選出理事候補者推薦の件

期日：平成 23 年 3 月 1 日

場所：中央電気倶楽部

主要議事：

(1) 会員異動の件

(2) 支部規則・細則改定案の件

(3) 平成 23 年度諸委員会委員改選の件

(4) 平成 23 年度事業計画・収支予算案の件

(5) 平成 23 年度支部定時総会の件

(6) 平成 23 年度業務日程・業務所掌の件

(7) セミナー講習会の件

会務委員会

委員数：箕浦幹事ほか 12 名

支部長を補佐し、支部運営の総務、会員対応などに関する事項を実施した。

編集委員会関西地区会合

委員数：大沢代表幹事ほか 14 名

期日：平成 22 年 12 月 14 日 場所：新大阪丸ビル

研究運営委員会

委員数：馬場・梅本運営委員ほか 9 名

期日：平成 23 年 2 月 10 日

場所：大阪府立大学

情報システム委員会

委員数：黒龍委員長ほか 6 名

期日：平成 22 年 12 月 14 日

場所：三菱重工業㈱神戸造船所

授賞審査委員会

委員数：藤久保委員長ほか 6 名

期日：平成 22 年 11 月 15 日

場所：神戸市産業振興センター

3. 西部支部

西部支部運営委員会

第1回運営委員会

期日：平成22年11月4日

場所：アルカスSASEBO特別会議室

主要議事：

- (1) 平成22年度事業報告の件
- (2) 平成22年度会計報告の件
- (3) 平成23年度事業計画案の件

第2回運営委員会

期日：平成23年3月25日

場所：九州大学創造パビリオン ゼミナール室

主要議事：

- (1) 平成22年度決算報告および監査報告の件
- (2) 平成22年度事業報告の件
- (4) 平成23年度事業計画および収支予算案の件
- (5) 平成23年度西部支部講演会開催の件
- (6) 会員異動の件